

川崎市

メッセージ

「第91回かながわ中央メーデー」の開催おめでとうございます。日頃から、すべての働く人々とその家族の暮らしのために幅広い活動を展開されており、改めて深く敬意を表します。

また、昨年の令和元年東日本台風では、本市の一部地域で甚大な被害が発生いたしました。ボランティア活動などを通じ、労働組合の皆様からも多大な御支援を頂戴しましたことに改めて深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、1920年の第1回の開催から100年を迎えた今大会の開催について大きな変更を余儀なくされたこと、大変残念に思います。本市といたしましても、新型コロナウイルス感染症に対しては、国や県、医療機関等と緊密な連携を図り、市民の皆様の安全・安心な暮らしを守るため、引き続き適切に対応してまいります。

さて、日本の総人口が減少局面にあるなかで、本市の人口は増加が続いており、昨年、神戸市を抜いて全国6位となりました。一方で、本市の人口の21%以上が65歳を超えて「超高齢社会」を迎え、その後も高齢化率が上昇し続けることが見込まれております。こうしたなかでも、本市を取り巻く社会・経済環境の変化に対応しながら、持続可能な市政運営を行っていくため、これまで本市が培ってきた多様性や地域資源など、優れたポテンシャルを最大限に活用しながら、課題の解決に向けて取り組んでまいります。

本市には、多様な方々が互いに尊重し合い、発展してきた歴史があります。本年は、昨年制定された「差別のない人権尊重のまちづくり条例」に基づき、具体的な取組を進めていく重要な一年となります。全ての市民が不当な差別を受けることなく、個人として尊重され、生き生きと暮

らすことができる人権尊重のまちづくりに、決意を持って取り組んでまいります。

また、産業振興の点では、市内企業の「働き方改革・生産性革命」の実現に向けた取組を支援し、雇用環境の改善による人材確保や市内企業の活性化を図るとともに、中小企業者の事業承継の促進や、災害対応力を高め、事業継続力を強化する取組を支援してまいります。

今大会のスローガンの中に「笑顔あふれる未来をつくろう！」という言葉がございますが、笑顔あふれる未来に向けて、市政を前進させるパートナーである皆様とともに、川崎がより働きやすく、住みやすいまちとなるよう全力を尽くしてまいりますので、今後とも御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、皆様のますますの御活躍と御健勝をお祈り申し上げます、御挨拶といたします。

令和2年4月20日

川崎市長

福田紀彦